



西 中 だ よ り

令和8年度重点目標

なりたい自分をイメージし、
ともに高め合う生徒の育成

令和8年5月29日発行
第 3 号

失敗は、成長のスタートライン。

5月も、チーム西中で子どもたちの一歩を支えます

① 安心から「挑戦」へ

新年度が始まり、ひと月が過ぎました。4月の子どもたちは、新しい学級・仲間・先生方との出会いの中で、少しずつ西中学校での生活のリズムを整えてきました。緊張した表情がやわらぎ、友だちと語り合う姿や授業に向かう姿から、一人一人の成長の芽が感じられます。

5月は、4月に築いた**安心感を土台**に、子どもたちが少しずつ「**やってみよう**」と動き出す大切な時期です。うまくいくことばかりではありません。思うように発表できないこと、友だちとの関わりで悩むこと、学習や部活動で壁にぶつかることもあります。しかし、それらは決して無駄な経験ではありません。**失敗は、その子が何かに向き合い、一歩踏み出した証です。**

② 挑戦した子どもを、学校全体で支えます

西中学校では、**挑戦した子どもを大切にします**。失敗したことだけを見るのではなく、挑戦しようとした気持ち、考えた過程、もう一度立ち上がろうとする姿を、学校全体で認め、支えています。子どもたちは、安心して失敗できる環境の中でこそ、次の挑戦へ向かう力が育ちます。

ご家庭でも、お子さんがうまくいかなかった出来事を話したときには――

「よくやってみたね」「そこまで考えたんだね」

――とまず受け止めていただければありがたいと思います。学校と家庭が同じ方向を向き、挑戦を認める言葉を重ねることで、子どもたちは自分の力を信じることができます。

③ 授業と家庭学習で、本物の力を育てます

5月の授業では「**見通し・交流・振り返り**」を大切にします。子どもたちが自分の考えをもち、仲間と学び合い、自分の言葉で学びを確かめる授業づくりを進めます。

ご家庭では、「何時から学習するか」「スマートフォンやゲームをどのように使うか」など、無理のない約束をお子さんと一緒に確認していただければ幸いです。大切なのは、大人が一方的に決めることではなく、**子ども自身が納得して、自分で生活を整えようとする**ことです。

④ 「なりたい自分」へ、今日から一歩ずつ

本校の重点目標は「**なりたい自分をイメージし、ともに高め合う生徒の育成**」です。なりたい自分は、遠い将来だけにあるものではありません。今日の授業で一度発言してみること、友だちの話を最後まで聞くこと、失敗してももう一度取り組むこと。その小さな積み重ねが、未来の自分をつくっていきます。

5月も、保護者の皆さまとともに、子どもたちの挑戦と成長を支える学校づくりを進めてまいります。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

やってみよう！ つながろう！ ありがとう！

余市町立西中学校 校長 庄司 真人